

# 令和6年度 災害ボランティアセンター 三者※合同研修 参加者募集！！

参加費  
無料

※名古屋市における災害ボランティア活動は、行政・社会福祉協議会・災害ボランティアの「三者」での連携・協働により行われます。

日時

2024年7月20日 土 9:30～16:30

会場

北区役所講堂

〒462-8558 名古屋市北区清水4-17-1 (地下鉄黒川駅から徒歩5分)

第1部と第2部の両方ご参加いただく災害対策委員と民生委員児童委員の方で希望者には弁当とお茶をご用意します(無料)

定員

第1部 市全体で **100名** 第2部 市全体で **50名**

(※第1部からの引き続きの参加となります)

締切

6月7日(金)

※災害対策委員と民生委員児童委員の合計の定員です。

市・区役所職員、市・区社協職員、災害ボランティア等については別途募集しています。

※参加者多数の場合は市社協にて抽選させていただきます

(市社協から連絡がない場合は、参加できますので当日ご参加ください)

※裏面の参加申込書をお住まいの区社協へ提出してください

災害支援の現場においては、市・区役所、市・区社会福祉協議会だけでなく、地域にお住まいの方による支援の重要性が高まっています。他都市の事例を聞き、名古屋における課題について考え、いざ名古屋で災害が発生したときの活動へとつなげていくために研修を開催します。なお、本研修には市・区役所職員、市・区社協職員・災害ボランティア等も参加しますが、災害対策委員や民生委員児童委員の皆様も関心がある方は、ぜひご参加ください。

## 第1部

9:30～12:15

### 1 基調講演

「地域との連携について」

超高齢社会・地域の希薄化・格差社会に象徴される今日の状況に、災害がさらに課題を深めています。行政・社協・災害ボランティア・NPO等と助け合いの要である「地域」との連携がいかに重要か、能登半島地震の最新情報も交えて課題提起します。

講師 栗田 暢之 氏  
(認定NPO法人レスキューストックヤード代表理事)

阪神・淡路大震災を契機に50箇所を超える災害現場で支援活動を展開。平常時はその学びを生かし、地域防災力向上や災害ボランティア育成、多様なセクターとの連携推進等に尽力している。

### 2 情報共有

- 水害にあったときの対応について
- 災害ボランティアセンターについて

## 第2部

13:15～16:30

### 3 災害ボランティアセンター 設置運営訓練

災害ボランティアセンターの設置運営訓練を実施します。

参加者の皆様には、災害ボランティアセンターの一部を体験していただきます。災害ボランティアのガイドのご案内します。

設置運営訓練の前には、少人数のグループを作り交流会を開催します。

参加者同士の意見交換や情報共有の時間としてご利用ください。

主催 なごや防災ボラネット、名古屋市、名古屋市社会福祉協議会

お問い合わせ・お申込み

〇〇区社会福祉協議会

TEL : 052-000-0000 FAX : 052-000-0000

MAIL : ××××@nagoya-shakyo.or.jp

## 令和6年度 災害ボランティアセンター三者合同研修 (令和6年7月20日(土)開催) 参加申込書

	所属	氏名	連絡先	学区名	○を付けてください	弁当とお茶 (無料) ※第1・2部両方 参加者のみ
1					第1部のみ ・ 第1・2部両方 参加	要・不要
2					第1部のみ ・ 第1・2部両方 参加	要・不要
3					第1部のみ ・ 第1・2部両方 参加	要・不要

申込み締切：6月7日(金)

●交通

地下鉄:名城線「黒川」下車 1番出口より徒歩5分  
市バス:「北区役所」下車 徒歩すぐ、「黒川」下車  
徒歩5分  
黒川交差点 南300メートル

※会場の駐車場はありませんので、公共交通機関  
でお越しください。



◎災害ボランティアセンター(災害VC)とは

災害VCとは、ボランティアを受け入れ、被災者のニーズ(要望、困りごと)に合わせてボランティアを紹介する等の調整を行い、ボランティアが円滑に活動できるように支援するための拠点で、災害の規模によっては全国からボランティアが集まります。  
本市の災害VCは、市地域防災計画にも位置付けられており、行政が設置し、社会福祉協議会やボランティア、NPO等が運営を行う「公設民営」型のセンターです。平常時には常設せず、災害発生後に、被災の規模を鑑み、市内の被災地周辺に設置されます。